

# 経営比較分析表（令和3年度決算）

静岡県一部事務組合下田メディカルセンター（事業会計分） 下田メディカルセンター

法適用区分	業種名・事業名	病院区分	類似区分	管理者の情報
当然財務	病院事業	一般病院	100床以上～200床未満	非設置
経営形態	診療科数	DPC対象病院	特殊診療機能 ※1	指定病院の状況 ※2
指定管理者(利用料金制)	15	-	ド訓	救感輪
人口(人)	建物面積(m <sup>2</sup> )	不採算地区病院	不採算地区中核病院	看護配置
-	8,632	第2種該当	-	7:1

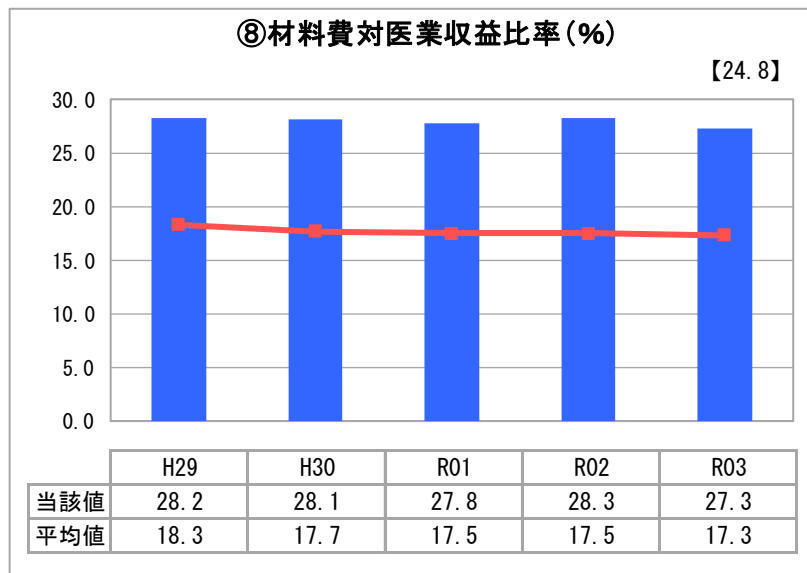
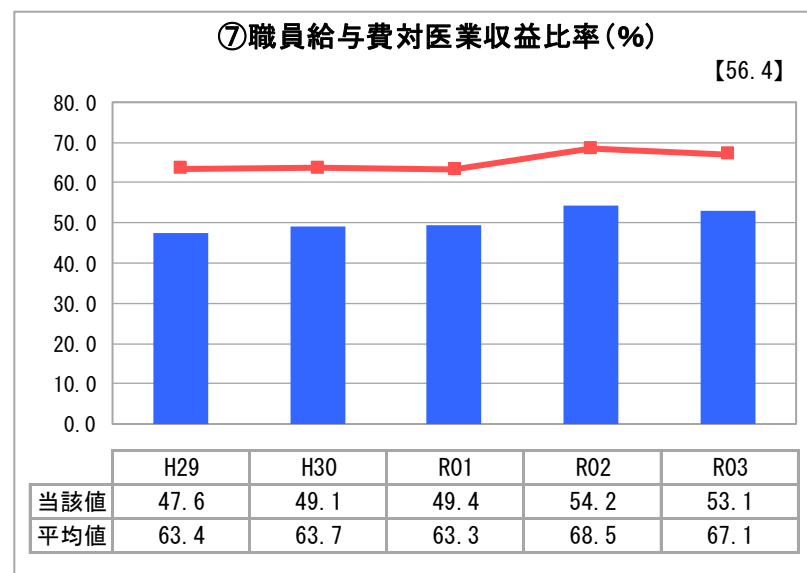
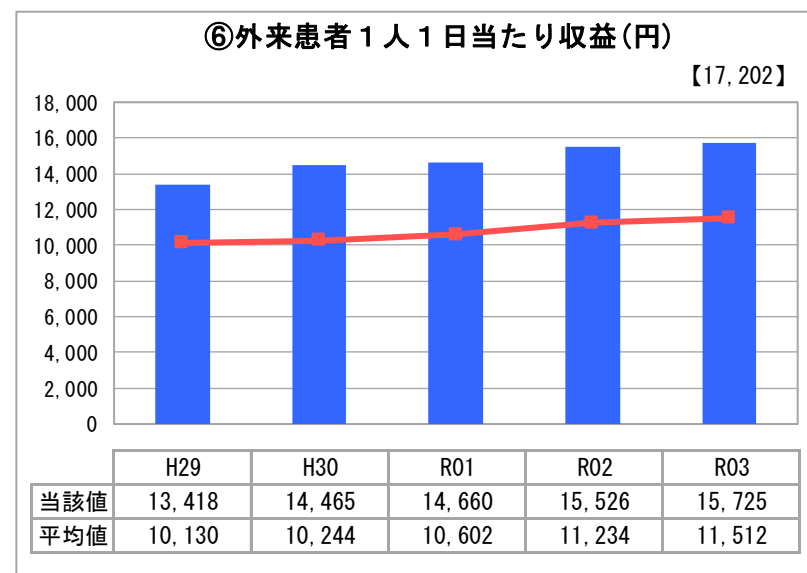
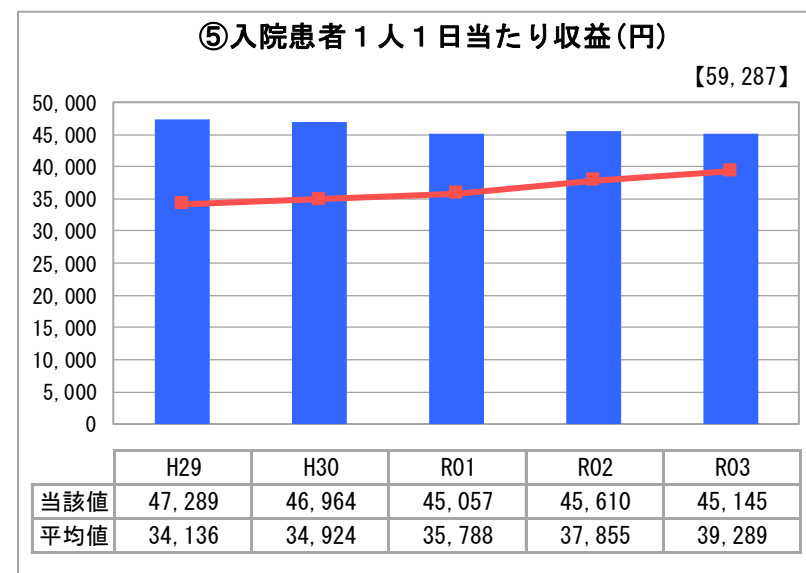
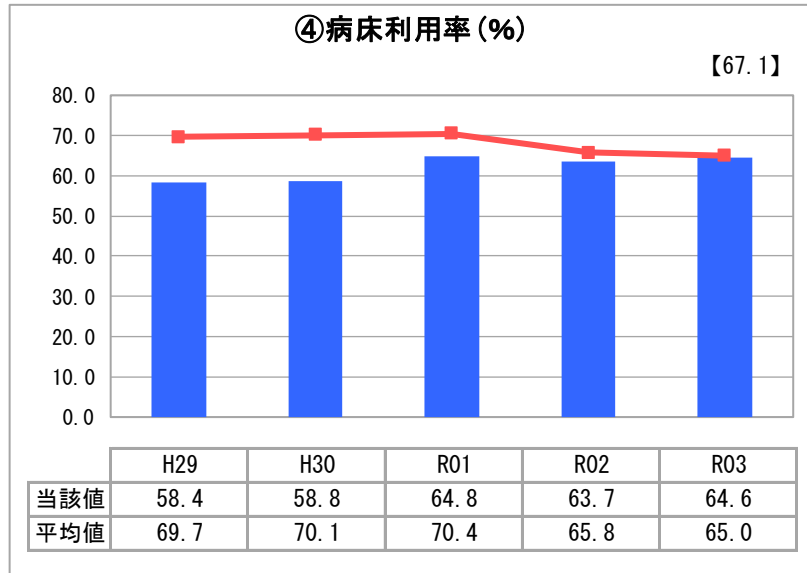
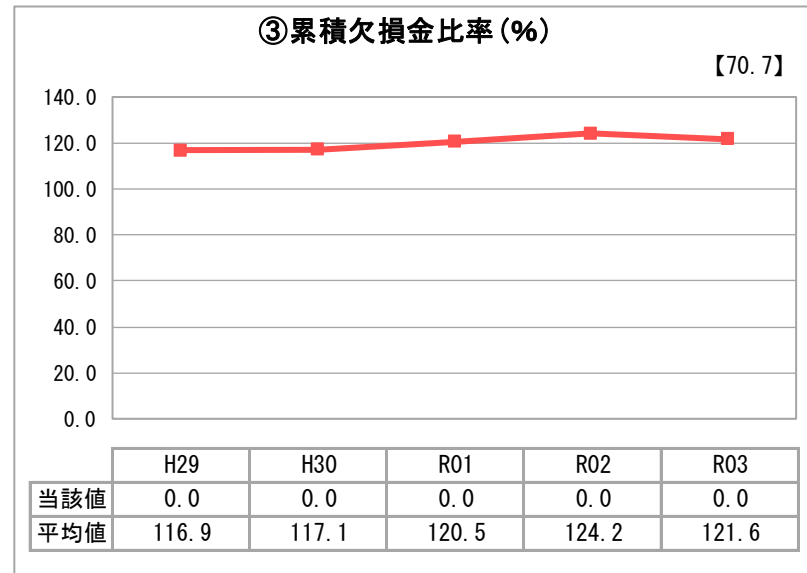
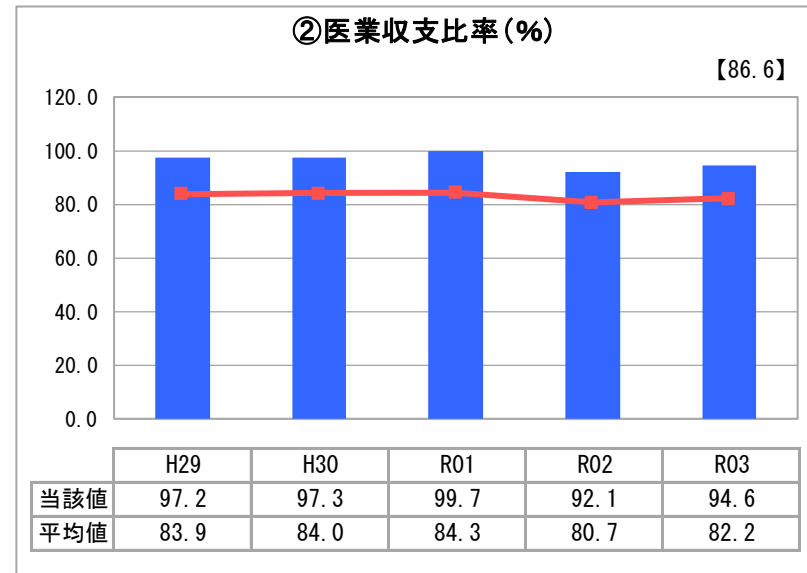
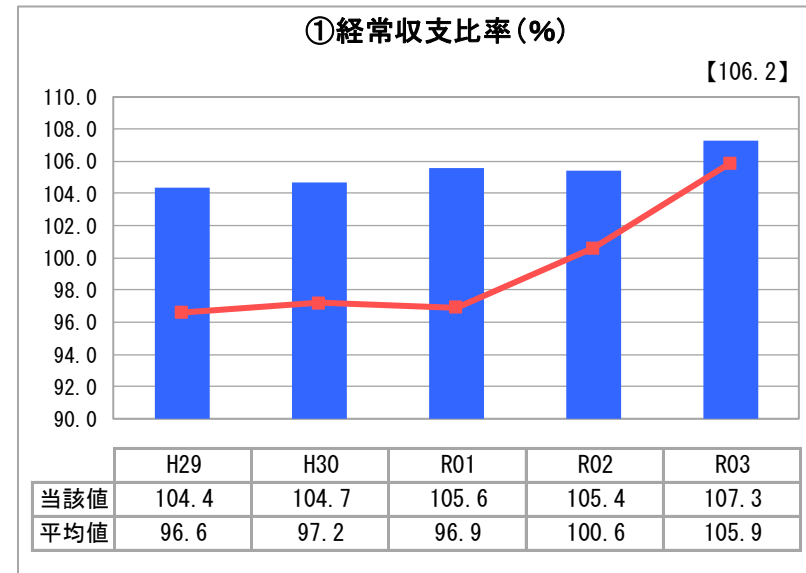
※1 ド…人間ドック 透…人工透析 I…ICU・CCU 未…NICU・未熟児室 訓…運動機能訓練室 ガ…ガン（放射線）診療

※2 救…救急告示病院 臨…臨床研修病院 が…がん診療連携拠点病院 感…感染症指定医療機関 へ…へき地医療拠点病院 災…災害拠点病院 地…地域医療支援病院 特…特定機能病院 輪…病院群輪番制病院

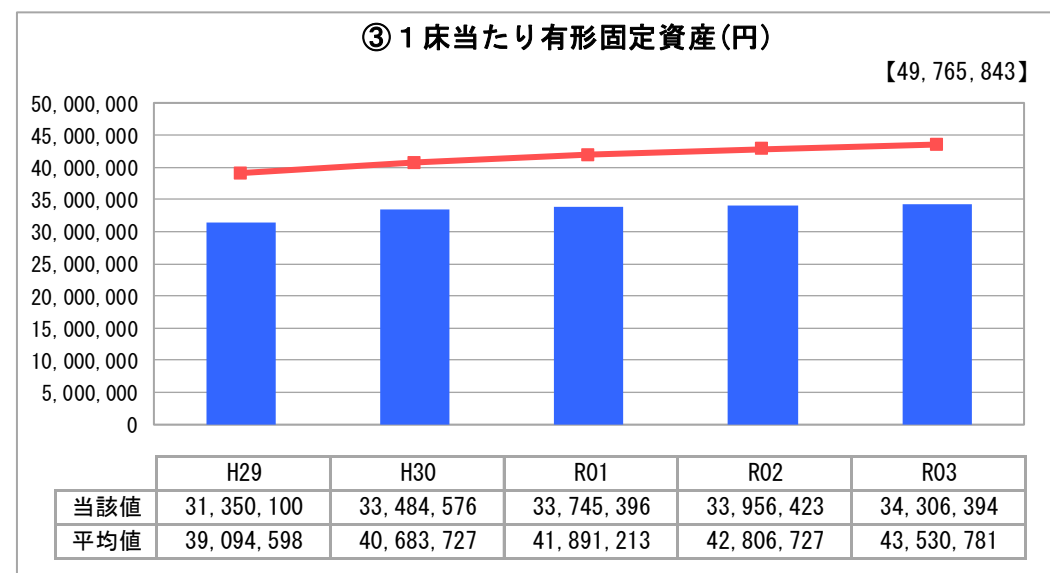
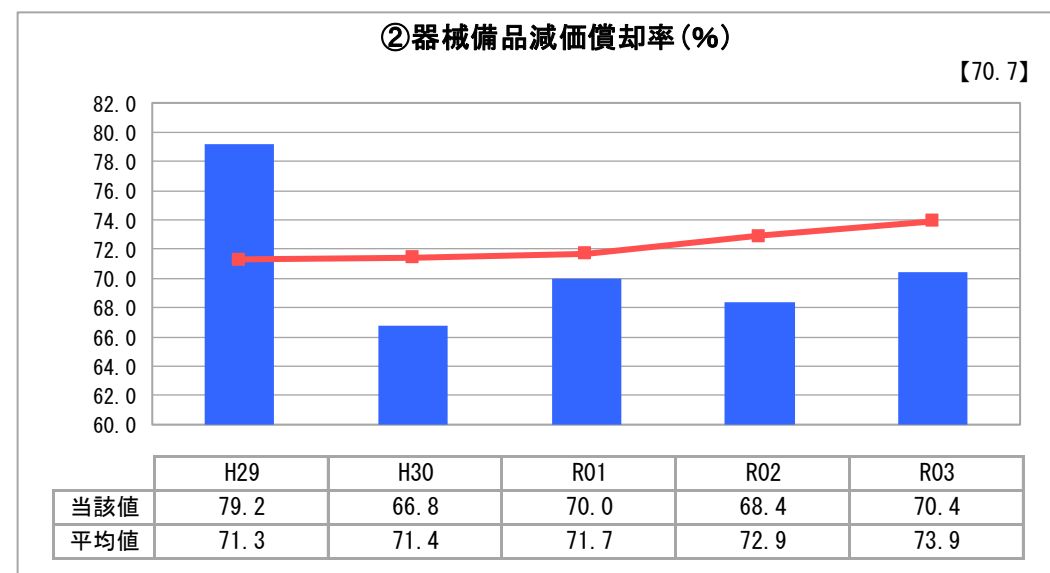
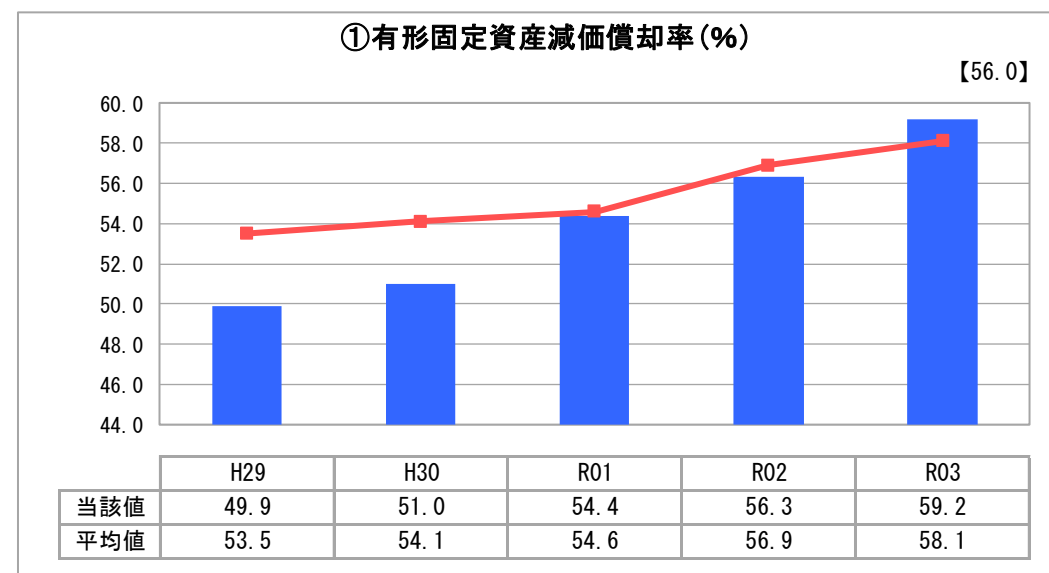
許可病床（一般）	許可病床（療養）	許可病床（結核）
138	-	-
許可病床（精神）	許可病床（感染症）	許可病床（合計）
-	4	142
最大使用病床（一般）	最大使用病床（療養）	最大使用病床（一般+療養）
125	-	125

グラフ凡例	
■	当該病院値（当該値）
—	類似病院平均値（平均値）
[ ]	令和3年度全国平均

## 1. 経営の健全性・効率性



## 2. 老朽化の状況



公立病院改革に係る主な取組（直近の実施時期）

再編・ネットワーク化	地方独立行政法人化	指定管理者制度導入
-	-	平成18
年度	年度	年度

## I 地域において担っている役割

圏域内唯一の公立病院として、救急医療を中心に地域医療を提供。一般病床（一般病床・地域包括ケア病床）、回復期リハビリテーション病床があり、圏域内約40%の救急車を受け入れ、急性期治療及びその後のリハビリ・退院支援まで完結できるようにしている。新型コロナウイルスの対応では、圏域内での中心的な役割を果たしており、入院患者の受け入れや発熱患者の検査を質茂保健所と連携し行っている。

## II 分析欄

### 1. 経営の健全性・効率性について

指定管理者制度の導入により、開設者・指定管理者双方の会計事務の効率化が図られている。病院運営には民間の経営手法が活かされている。新型コロナの流行により②医業収支比率は流行前と比べて下がってはいるものの回復傾向にあり、引き続き平均値は超えて、安定している。⑧材料費は平均値を大きく上回るが、これは伊豆半島の先端という土地柄、都市部に比べ単価が高い傾向にあるためである。ただそれであっても上記②だけでなく①経常収支比率平均値を上回っているため、健全な運営ができていたといえよう。

### 2. 老朽化の状況について

■建物  
移転前の旧病院が現在も残っており、その減価償却分が入った数値となるため、現病院分の正確な値となっていない。現病院は特筆すべき老朽化は見られないが、故障や腐食など経年劣化はあり、修繕にて対応。旧病院の扱いについては検討中である。

■器械備品  
平均値を下回っている。計画的に更新をしている結果が表れている。今後も耐用年数等考慮しながら更新予定。病院機能充実・強化のため、新規導入も予定している。

## 全体総括

新型コロナウイルスの影響が少なからず続いている。令和3年度においても手術や健診・人間ドック等を制限せざるを得ない時期があったこともあり、医業収益の減の理由となっている。しかし、入院・外来ともにコロナ前の数字にあと一歩というところまで来ており、地域の医療ニーズに応えられている結果だと感じている。下田メディカルセンター経営改善計画に关して事業評価委員会を毎年開催し、有識者や地元住民から意見もいただきながら各項目を検証している。今後も公立病院として地域の求める医療に耳を傾けながら、人口減少・高齢化率高の当地域であっても経営面でも健全経営ができるよう、指定管理者・開設者ともに対応していく所存である。

※「類似病院平均値(平均値)」については、病院区分及び類似区分に基づき算出している。